

平成29年度 外国人招へい研究者(短期・第1回) 採用者一覧

※採用通知文書は1月中旬に発送いたします。平成29年1月中旬に届かない場合は、日本学術振興会人物交流課までご連絡下さい。

氏名・国籍	受入研究者	専攻分野	研究課題	採用期間
LOI Pasqualino イタリア	井上 貴美子 理研・専任研究員	動物生産科学	体細胞核移植による核リプログラミング技術の新規開発	2017/06/20～2017/07/07 (18日間)
BELLES-ROS Javier スペイン	大門 高明 京大・教授	昆虫科学	昆虫の変態の分子制御と進化機構の解明	2017/07/05～2017/07/25 (21日間)
ZCHORI-FEIN Einat イスラエル	深津 武馬 産総研・首席研究員	応用微生物学	植物―害虫―共生微生物間相互作用の解明と利用に関する国際共同研究に向けた研究討議	2018/03/14～2018/03/29 (16日間)
HORTON Robert 米国	小島 悠揮 岐阜大・助教	地域環境工学・計画学	土壌物理学による地盤工学, 土壌学, 作物学の連携	2017/06/04～2017/06/17 (14日間)
VALLS Marc Matheu スペイン	田淵 光昭 香川大・准教授	植物保護科学	青枯病の病害解明に向けた国際共同研究	2017/07/14～2017/08/12 (30日間)
CUI Zi-Ning 中国	西田 芳弘 千葉大・教授	生物有機化学	糖を分子基盤とする植物免疫活性剤の開発研究	2017/08/01～2017/09/28 (59日間)
DEWPURA ACHARIGE Lilisiya Leelamanie スリランカ	小林 政広 森林総研・チーム長	森林科学	森林火災下における土壌の撥水性と炭素保持の関係解明	2017/04/21～2017/06/19 (60日間)
KARTAL Saip Nami トルコ	吉村 剛 京大・教授	木質科学	シロアリおよび菌類に対するフッ化ナトリウムと八ホウ酸二ナトリウムの効力閾値の決定	2017/07/10～2017/09/07 (60日間)
MORRISON Mark オーストラリア	小林 泰男 北大・教授	動物生産科学	消化管微生物学的アプローチによる動物の健康および生産の向上	2017/10/11～2017/10/31 (21日間)
EMES Michael James カナダ	藤田 直子 秋田県立大・教授	応用分子細胞生物学	穀類の澱粉構造制御における分子機構の解明	2017/06/11～2017/07/02 (22日間)
FLINT-GARCIA Sherry Ann 米国	山崎 将紀 神戸大・准教授	遺伝育種科学	穀物におけるゲノムワイドアソシエーション解析と育種にむけた応用	2017/06/11～2017/06/24 (14日間)
DENPAIBOON Chaweewan タイ	霜浦 森平 高知大・准教授	社会・開発農学	地域経営型農村ビジネスに関する調査研究―コミュニティによる合意形成手法の開発―	2017/05/25～2017/06/25 (32日間)